

緑川工場通信 No.15

朝夕は涼しいものの日中は、汗ばむ日が多くなってきましたね。朝礼の時にも、こまめな水分補給等の「熱中症」対策についての指導がはじまりました。

熱中症とは、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分バランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称です。

「熱中症」は真夏の暑い日だけに起こるものではありません。これから本格的になる梅雨時のジメジメとした日にも起こります。(エアコンの効いた室内でも、水分補給不足による熱中症も起こります。)皆さん！要注意ですよ！

では、どうやって注意するか・・・次の5つの項目を確認・注意してみましょう。

①WBGT値の低減に努めよう！

* WBGT値とは・・・暑さ指数。天気予報などに取り上げられる、その日の熱中症にかかる可能性の数値。(仕事体系・業務内容によって異なります。最高気温の時間帯等)時間帯等を意識して注意を払いましょう。

②熱への順化期間を設けよう！

* 涼しい場所・休憩室等を設け適度な休憩時間を確保しましょう。

③自覚症状の有無にかかわらず水分・塩分の摂取！

* 手っ取り早い方法は、スポーツドリンクを摂取する・・・でも糖分が気になる所ですね。(最近では、熱中症対策ドリンクも増えてきています。味は・・・参考まで)ジュース・コーヒー等のカフェインが含まれる飲み物は利尿作用が生じ、かえって脱水症状を引き起こすことがありますのでご注意ください！！

④透過性・通気性の良い服を着よう！

* 下着のこまめな交換・もしくはドライTシャツ・ステテコ等を活用するのが望ましいです。(作業着も定期交換できればベストですね！)

⑤睡眠不足・体調不良に注意する！

* 十分な睡眠の確保(約7時間)や、バランスの取れた食事等による体調管理が大事です。(暑さにかまけて、冷たい物や偏った食事には十分注意しましょう)

以上の5つの項目をしっかり守って、熱中症にならないよう注意していきましょう！

Happy Father's day

「父の日」の始まり・・・。1910年、アメリカワシントン州のジョン・ブルース・ドット夫人は、苦勞して6人兄弟を育ててくれた父親に感謝する行事を行いました。ドット夫人は、「母の日があるのなら、父の日もあるべきだ」と主張し広く知られるようになりました。

日本では、戦後始まった「母の日」の習慣に少し遅れて、1953年頃から「父の日」を祝うようになりました。アメリカでは「父の日」にはバラを贈る習慣が始まりました。バラの色は特に決められていませんが、「身を守る色」とされている黄色のバラを贈る人が多いようです。

熊本市南区日吉2丁目11-40
TEL.096-357-8400
FAX.096-357-8495

定休日: 日曜日・祝日・第二土曜日

営業時間: 午前8時30分～午後5時30分



東京に宿泊しましたが、夜は同行した専務が用事があるとの事で、突然1人になってしまいました。泣何も分からない東京でどうしようか悩みましたが、友人を呼び出し少し観光してきました(笑) 花金(古い!)ということで、熊本と違い、人が多く活気があるようでした。時間も遅かった為、ゆっくりはできなかったですが、東京タワーと東京駅を観光してきました！

古寺

第1回钣金塗装技術競技大会

2014年

6

月号



倉庫で商品管理をしている堂下です。4月27日、熊本県自動車車体整備協同組合主催による「第1回钣金塗装技術競技大会」が熊本カーハイテクセンターで開催され見学へ行きました。日常業務で特に関係のある钣金の実技を中心に見学しました。

実技では1枚のヘコミがあるドアを制限時間内で修理されるというものでした。

全部で12社参加されており、修理のやり方や工具も違い、普段見れないような作業を間近で見ることが出来ました。

ドア1枚の修理で約3時間ほどの時間も要し、钣金という作業がどれだけ手間のかかるものなのか再認識することも出来ました。

倉庫業務では、ヘコミのあるドア、钣金してあるドア等を登録することがよくありますので倉庫で登録した商品がどのようにして修理されるのかある程度の想像ができるようになりました。

普段では経験することのできない貴重な時間を過ごすことができ、今後の検品の精度アップにつなげていきたいと思えます。また、お客様に満足していただける商品を提供できるよう、取り組んでいきます。

事業所訪問へ行ってきました

4月に埼玉県のリビルトメーカーと同業者の事業所を訪問してきました。取引先の事業所の視察と今後の取引拡大に向けての関係強化を目的とし埼玉へ行って参りました。

1日目は、埼玉県吉川市のリビルトメーカーを視察し、生産工場を見学させて頂きました。以前、本田技研の生産ラインにいた事があるのですが、工場内が同じ匂いが少し懐かしく思いました。

商品については、品質管理がきちんとされ、一度発生したクレームを再度起きないように製品にフィードバックされていました。

もう1社が、バンパー等の外装部品を補修し、販売を行っている会社です。

どの会社も事業形態の違いはあっても、一番に考えている事は『品質』でした。

以前のような解体部品ではお客様の信頼は得られず、きちんと品質管理されたりサイクルパーツを販売する事を考えていらっしゃいました。

当社も今まで以上に品質を上げ、お客様に信頼していただけるよう商品提供をしていかなければいけないと感じました。

キタグチ

Vol.62



ご利用頂きありがとうございます。今月もよろしくお願ひ致します。

発行部署
総務経理企画部

平成26年
6月1日発行

